



The Young Researchers Association of the Japanese Society for Hygiene Newsletter

日本衛生学会若手研究者の会 秋の通信

➤ 夏の集い 2024 の報告

8月19日（月）に東京女子医科大学医学部キャンパス内で、日本衛生学会若手研究者の会 夏の集い 2024 が宮山貴光先生と夏の集い委員会のメンバーの運営により開催された。現地参加者28名、オンライン参加者17名と多くの先生方にご参加いただいた。

本セミナーでは、教育講演として松岡雅人先生（東京女子医科大学 医学部 前教授）に「化学物質による健康影響と分子毒性学研究」というタイトルで、臨床的な視点からの神経毒性・シグナリング毒性学・若手研究者へのメッセージを頂き、多くのご質問にお応えいただいた。

若手研究者の発表会としては、飯田 裕貴子（株式会社環境管理センター）、水野 佑紀（東京大学）、平野 哲史（富山大学）、天谷 亮介（東京慈恵会医科大学）、吉岡 弘毅（岐阜医療科学大学）、小野田 淳人（山陽小野田市立山口東京理科大学）、箕浦 明（昭和大学）にご発表頂き、時間の都合上、各演者への質疑応答時間は限られていたが、活発な意見交換が行われ、休憩時間や懇親会を利用して相談する場面も見られた。

交流会では、昨年と同様に 1min プレゼンテーションが行われ、1 分間砂時計を気にしながら発表する、若手のプレゼン力を鍛える愉快的な発表会となりました。

最後に、本セミナーにご参加いただいた先生方、誠にありがとうございました。来年の夏の集い（東海大学 伊勢原キャンパスの予定）のご参加もよろしくお願い申し上げます。



➤ 第 95 回日本衛生学会学術総会の若手研究者の会企画について

埼玉医科大学・社会医学 教授 亀井美登里先生の運営による第 95 回日本衛生学会学術総会（2025 年 3 月 19 日～21 日）が開催されます。若手研究者の会は、学会 1 日目に企画 1・2 を下記の内容で開催します。衛生学エキスパートポイントの対象となっており、若手に限定は一切しておりません。学会員の皆様、是非、ご参加ください。

● 若手研究者の会企画 1（2025 年 3 月 19 日 14:00～15:30 第 3 会場）

「身の回りにある化学物質とその影響 -衛生学研究から見えてきたこと-」

座長：北村 祐貴（自治医科大学）、瀬川 悠紀子（大阪成蹊短期大学）

藤原 悠基（群馬大学）

「PFAS による脳機能発達への影響解析」

宗 才（東京理科大学）

「マイクロ/ナノプラスチックの曝露がアストロサイトおよびミクログリアに及ぼす影響」

宮崎 航（弘前大学）

「PFASs による細胞内シグナル伝達機構を介する影響の検討」

伊藤 弘明（順天堂大学）

「有機フッ素化合物（PFAS）と乳がんの疫学研究」

龍田 希（国立環境研究所）

「胎児期 PCB 曝露が出生児の発達に及ぼす影響」

● 若手研究者の会企画 2（2024 年 3 月 19 日 15:30～17:00 第 3 会場）

座長：木戸尊將（東京慈恵会医科大学）

少人数のグループによる交流会を予定しており、交流会後は定期会合を行います。

● 若手研究者の会企画 3：ポスターセッションにおいて（2024 年 3 月 20 日～21 日）

学術総会 2 日目～3 日目のポスターセッションにおいて、若手研究者有志の会から現在までの活動軌跡と若手研究者の会によるアンケート調査結果の 2 演台を発表しますので、是非、ご覧ください。

➤ 世話人紹介

兵庫県立大学
地域ケア開発研究所
所長・教授
林知里



研究テーマ：地域/産業保健、災害看護、双生児研究
 ✓フレイル（特に社会的フレイル）予防のRCT
 ✓双生児の発達
 ✓労働災害（特に転倒/骨折）データベースの分析
 ✓転倒リスク評価

ひと言

地域ケア開発研究所は、WHO災害健康危機管理コラボレーティングセンターの認証を受けています。気候変動に伴う災害、健康への影響などを国際的な視点から検討していきたいと思っています。学生さんや若手の皆様が活躍できるような機会を増やしていきたいです。中学生の双子（男女）がいます。

福井大学
学術研究院医学系部門
環境保健学分野
助教

木村 栄輝



"Potato Chip Rock"
San Diego, CA, the U.S.

研究テーマ：

- 環境化学物質（多環芳香族炭化水素など）や産業化学物質（重金属など）がもたらす神経毒性、発がんを中心とした有害影響の評価・解析
- 芳香族炭化水素受容体（AHR）を介した毒性影響の機序解明

ひと言

2024年から世話人を務めさせて頂いております。日本衛生学会の皆さま、特に若手研究者が研究を楽しみ、有意義な研究者人生を歩むサポートができればと考えています。よろしくお願いします。

大阪成蹊短期大学
調理・製菓学科
講師 瀬川悠紀子



研究テーマ：食品・食品成分による高血圧予防

- ✓カプサイシンおよびラッキョウの高血圧予防機序
- ✓昆布・昆布出汁・昆布出し殻およびそれらのうま味成分が血圧に与える影響と利用法

ひと言

2024年から世話人となりました。とても温かい会で、楽しく活動させていただいております。微力ではございますが、若手の会の活性化につながるよう尽力いたします。どうぞよろしくお願い致します。

金沢医科大学
公衆衛生学
講師 瀧口 知彌



主な研究テーマ：

1. がん登録のデータを元に頭頸部がんの治療方法の選択傾向、診断から治療開始までの待機期間などの解析
2. ベトナムのダイオキシン高暴露地域における歯や骨の形成異常に関する研究
3. 地域在住の高齢者における口腔機能と歩行能力との関連に関する研究

ひとこと：

PythonやSTATA、Rによるコーディングやデータベースサーバーの構築、運用等を主な生業としています。学部生・大学院生（もちろん若手の先生も）の指導のご依頼等はお気軽にどうぞ。

➤ OB・OG 世話人の紹介

若手研究者の会の世話人を経験されて、ご活躍頂いている元世話人の先生方のコラムを始めます。

- 所属：宮城教育大学・教職大学院・教授 黒川 修行
- 研究テーマ：子どもの発育・発達や大学生の健康に関するいろいろなこと

- 本当にいろいろなのです。

- ✓ 仙台市における児童・生徒の身長・体重の変化について
 - ✓ 子どもの肥満に関する研究もしています（最近停滞気味）。
- ✓ 宮城県・仙台市の児童・生徒の体力・運動能力の評価について
- ✓ やり抜く力（GRIT）に関する研究（現在は大学生を対象）
- ✓ 高校生用「保健体育」の教科書づくりにも関わったりしています。

学会でお目にかかりましょう！



- 若手の会世話人を経験してよかったこと

いろいろな研究領域の方と繋がりが出来たことです。

背景も違うので、それが刺激となり、細胞の活性化に繋がっています？！

- 若手研究者の皆様へ

衛生学という領域は、本当に様々なところと繋がっているなあって思っています。自分の周りの小さいところだけではなく、たまには大きな広がりを感じるのも良いと思います。

産業医科大学 医学部 衛生学

教授 辻 真弓

産業医科大学エコチル調査サブユニットセンター センター長

研究テーマ：疫学研究（母子、労働者）

- ◆化学物質が労働者に与える影響の調査
- ◆エコチル調査の遂行・研究指導等



衛生学会若手の会現世話人&OB/OG
と不定期開催飲み会



～～若手の会世話人を経験してよかったこと～～

研究仲間が日本全国に！！

* 世話人会を通してできた仲間に、研究の相談・遂行の助力をいただいています。
また、愚痴を言い合うこともでき、世話人仲間はメンタルケアにも重要な存在です。

若手研究者へ一言 一緒に衛生学を楽しみましょう。
見かけたら声をかけて下さると嬉しいです。

（眼鏡をかけていないときは、視界が2メートルです・・・すみません。）

※最後に

若手研究者の会への参加登録は随時募集しております。お知り合いの方でご興味がありそうな方がおられましたら、是非、ご連絡をお願いします。なお、若手の会に年齢制限は設けておりません！若手研究者・OB・OG・衛生学研究にご興味のある非会員の方々の積極的なご参加をお待ちしております。

それでは、第95回日本衛生学会学術総会の定期会合（2025年3月埼玉県ソニックシティ）でお会いしましょう！！

日本衛生学会若手研究者の会

jsh-yra@nacos.com